

【名称】凹レンズ型 自動車用エアバッグ

米国特許5934701

【新技術】エアバッグの膨張時の形状を、「凹レンズ」型とした。

この形状で膨張すると、膨張率を高め、膨張速度を速めても、顔面への衝撃は比較的穏やかとなり、エアバッグをすり抜ける確率も低くなります。

【従来技術】エアバッグの事故時の膨張速度を速めると、制止効果は上がりますが、顔面への衝撃が強くなり、怪我をするケースも考えられます。逆に、膨張率を低くし、膨張速度を弱めると、特に左右への遠心力が加わる事故のときなど、エアバッグをすり抜けるケースもあります。

【特許】

名称 自動車用エアバッグ

米国特許 5934701

インターネット検索

1. 「特許・実用新案検索-特許電子図書館IPDL」入力 → 検索 → クリック
2. [10] 外国公報DB → クリック
3. 「US-A1-5934701」入力 → 文献番号照会をクリック
4. 和文抄録→クリック



又は【 外国公報DB.url ⇒ダブルクリック→3. →4. 】